

警察本部

(予 算 額) (決 算 額)

I 警察本部費

1 警察運営事業	520,285	468,414	活力ある組織基盤づくりと警察業務運営の効率化を図るとともに、警察署の再編を実施し、更なる警察力の強化を行った。
2 情報管理業務事業	516,369	508,448	運転者の管理や捜査活動を支援するコンピュータ関係機器の運用及び維持管理を行った。

II 警察施設費

1 地域警察活動拠点整備事業	111,534	109,292	駐在所（1箇所）の新築工事等を行った。
----------------	---------	---------	---------------------

III 運転免許費

1 運転免許事業	645,443	631,439	運転免許試験の実施、運転免許証の作成・交付を行うとともに、交通事故防止を推進するための各種講習を行った。
----------	---------	---------	--

IV 警察活動費

1 警察装備事業	461,315	425,673	警察活動の基盤となる警察官用被服、公務用車両等の更新及び維持管理を行った。
2 一般犯罪捜査活動事業	433,084	426,053	殺人、窃盗等刑法犯の捜査活動及び犯罪鑑識等科学捜査活動の充実を図った。
3 組織犯罪捜査活動事業	49,217	43,750	来日外国人犯罪、暴力団犯罪等組織犯罪事件捜査活動の充実を図った。
4 生活安全活動事業	84,900	74,078	子供・女性の安全確保や特殊詐欺被害防止等の犯罪抑止に向けた啓発活動及びサイバー犯罪等生活関連事件捜査活動の充実を図った。
5 地域警察活動事業	350,906	333,592	地域住民の安全と平穏を守るため、通信指令システムの維持管理及び交番・駐在所の活動の充実を図った。
6 航空隊活動事業	53,694	46,547	上空から警察活動を支える警察ヘリコプターの運用を行った。
7 交通警察活動事業	416,626	399,903	子供・高齢者が交通安全意識を高め交通事故から身を守るために交通安全教育活動や、道路交通の安全を確保するための交通指導取締りの充実を図った。
8 交通安全施設整備事業	617,121	542,855	交通管制センターの整備、交通信号機の新設・改良及び道路標識・標示等交通安全施設の整備を実施し、交通の安全と円滑化を図った。
9 交通安全施設維持管理事業	455,278	437,847	交通管制センター設備及び交通信号機等の交通安全施設の維持管理を行い、交通の安全と円滑化を図った。
10 犯罪被害者支援事業	4,379	4,164	犯罪被害者等の精神的被害の軽減、捜査過程における二次的被害の防止・軽減、再被害防止等の支援を行った。

11	放置駐車対策事業	76,105	74,076	放置駐車違反管理システムの維持管理及び放置車両確認業務の民間委託等を行い、交通の円滑化と交通事故防止を図った。
12	少年の非行防止・保護対策の強化事業	49,269	46,534	少年サポーター・学校支援サポーターの活動による少年の規範意識の向上及び非行防止対策を行った。
13	サイバー空間の脅威への対処能力強化事業	9,339	8,844	犯行手口が日々進化するサイバー空間での犯罪に対応するため、サイバー犯罪対策検査員の育成を行った。
14	鑑定基盤の確保事業	31,762	28,597	刑法犯の検挙率向上に有効なDNA型鑑定の消耗品の整備を行った。
15	警衛警備事業	84,485	58,381	紀の国わかやま文化祭2021及び紀の国わかやま総丈2021開催に伴う警衛警備に向けた各種調査・諸準備を行った。
16	超超高齢化社会を見据えた環境整備事業	10,609	10,608	超超高齢化社会を見据えた特殊詐欺事件捜査等の資機材の維持管理を行った。
17	総合的なサイバーセキュリティ対策の強化事業	7,921	6,031	全国トップレベルのサイバー犯罪捜査体制を構築するための人材育成及び解析機器等の維持管理を行った。
18	生活安全警察支援システム構築事業	197,385	197,383	生活安全警察で取り扱う情報を一元的に集約し、情報共有することができるシステムの構築を行った。
19	A I 技術を活用した映像解析システムの構築事業	49,715	49,658	A I 映像解析ソフト等を用い、迅速的確に防犯カメラ映像の収集、解析を行うことができるシステムの構築を行った。
(前年度繰越分)				
1	交通安全施設整備事業	13,502	13,501	交通信号機の新設整備を実施し、交通の安全と円滑化を図った。